

L2スイッチ

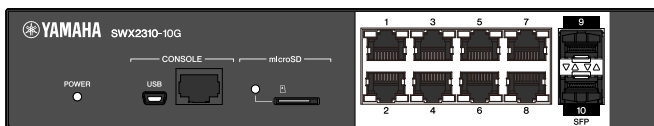
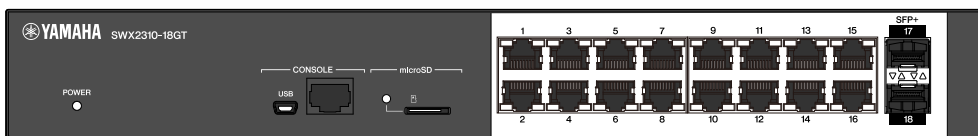
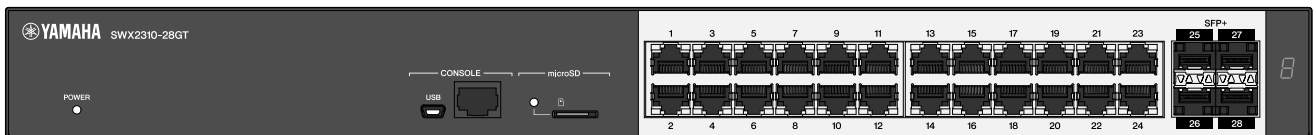
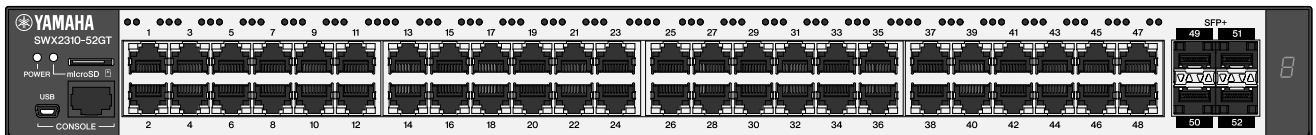
SWX2310-52GT

SWX2310-28GT

SWX2310-18GT

SWX2310-10G

スタートアップガイド



目次

1. はじめに	3
1.1. 本製品の特長	3
1.2. 付属品	3
1.3. 別売品	3
1.4. マニュアルのご案内	4
1.5. 本ガイドの表記について	4
2. 各部の名称と機能	6
2.1. 前面	6
2.2. 底面	9
2.3. 背面	10
2.4. 側面	11
2.5. 上面	12
2.6. 表示モードの切り替え	13
2.7. ポートのランプ	15
3. 設置	17
3.1. 水平置きで設置する	17
3.2. 19インチラックに設置する【SWX2310-10G】	18
3.3. 19インチラックに設置する【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】【SWX2310-18GT】	20
3.4. スチール製壁面に設置する【SWX2310-18GT】【SWX2310-10G】	21
3.5. スチール製壁面から取り外す【SWX2310-18GT】【SWX2310-10G】	23
3.6. 壁面に設置する【SWX2310-18GT】【SWX2310-10G】	23
4. 接続	27
4.1. ネットワーク機器やパソコンを接続する	27
4.2. SFPモジュールを装着する	28
4.3. SFPモジュールを取り外す	29
4.4. ダイレクトアタッチケーブルを装着する【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】【SWX2310-18GT】	30
4.5. ダイレクトアタッチケーブルを取り外す【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】【SWX2310-18GT】	31
4.6. スタック接続する【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】	32
4.7. 電源コードを接続する	32
5. 設定	34
5.1. CONSOLEポートを使用してコマンドラインで設定する	35
5.2. Telnetを使用してコマンドラインで設定する	38
5.3. SSHを使用してコマンドラインで設定する	40
5.4. Web GUIを使用して設定する	42
5.5. 本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す	43

1. はじめに

1.1. 本製品の特長

本製品は、中規模以上のネットワークに適したインテリジェントL2スイッチです。SWX2310-52GT、SWX2310-28GT、SWX2310-18GTの3モデルでは、アップリンク向けに10 Gbps通信が可能なSFP+スロットを搭載し、トラフィック増加の需要に対応しております。豊富な認証機能やスタック機能(*1)、スタティックルーティング機能を搭載しており、また、端末の死活監視やパフォーマンス観測機能といった管理機能にも対応しております。加えて、「LANマップLight」を搭載しているため、スイッチのWeb GUIを通しネットワークの状態を容易に把握でき、IT専任者がいない環境でも簡単に確認や設定をすることができます。(*1) スタック機能はSWX2310-52GT、SWX2310-28GTのみ対応

1.2. 付属品

以下の付属品が同梱されているか、ご確認ください。

- ・はじめにお読みください（保証書付）
- ・AC100V用電源コード（1本）
- ・電源コード抜け防止金具（1個、付属AC100V用電源コード専用）
電源コードを取り付ける際に使用します。取り付け方は「[電源コードを接続する](#)」をご覧ください。
- ・レッグ（4個）
水平置きで設置する場合に必要です。取り付け方は「[水平置きで設置する](#)」をご覧ください。
- ・19インチラックマウント用金具&ネジ（金具：2個、ネジ：8本）【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】【SWX2310-18GT】
19インチラック（1Uサイズ）に取り付ける場合に必要です。取り付け方は「[19インチラックに設置する【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】【SWX2310-18GT】](#)」をご覧ください。
- ・マグネットシート MGS-3118（1枚）【SWX2310-18GT】、MGS-2020（1枚）【SWX2310-10G】
スチール製壁面に取り付ける場合に必要です。取り付け方は「[スチール製壁面に設置する【SWX2310-18GT】【SWX2310-10G】](#)」をご覧ください。
- ・ダストカバー（4個）【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】、（2個）【SWX2310-18GT】【SWX2310-10G】
工場出荷時にSFPポート/SFP+ポートに取り付け済みです。

1.3. 別売品

- ・SFPモジュール：YSFP-G-SXA、YSFP-G-LXA
適合規格：1000BASE-SX/1000BASE-LX
光ファイバーケーブルを接続する場合に必要です。
SFPポート、SFP+ポートに装着します。装着方法は「[SFPモジュールを装着する](#)」をご覧ください。
- ・SFPモジュール：YSFP-10G-SR、YSFP-10G-LR【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】【SWX2310-18GT】
適合規格：10GBASE-SR/10GBASE-LR
光ファイバーケーブルを接続する場合に必要です。
SFP+ポートに装着します。装着方法は「[SFPモジュールを装着する](#)」をご覧ください。
- ・ダイレクトアタッチケーブル：YDAC-10G-3M、YDAC-10G-1M【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】【SWX2310-18GT】
SFP+ポート間を直接接続することで、距離は限定されますが、安価に10ギガビット・イーサネット環境

の構築が可能です。

また、スタック機能に対応したスイッチにおいてはスタック用ケーブルとしても使用可能です。装着方法は「[ダイレクトアタッチケーブルを装着する【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】【SWX2310-18GT】](#)」をご覧ください。

- RJ-45コンソールケーブル：YRC-RJ45C
RJ-45 CONSOLEポートとパソコンなどのターミナル端末（D-sub9ピンポート）をシリアル接続する場合に必要です。
- ラックマウントキット：YMO-RACK1U【SWX2310-10G】
19インチラック（1Uサイズ）に取り付ける場合に必要です。取り付け方は「[19インチラックに設置する【SWX2310-10G】](#)」をご覧ください。
- ウォールマウントキット：YWK-1200D【SWX2310-18GT】【SWX2310-10G】
壁面に設置する場合に必要です。取り付け方は「[壁面に設置する【SWX2310-18GT】【SWX2310-10G】](#)」をご覧ください。

別売品の詳細については、以下のWebサイトをご覧ください。

ヤマハネットワーク製品オプション：<https://network.yamaha.com/products/options/>

1.4. マニュアルのご案内

本製品の利用シーンに合わせた下記のマニュアルを用意しています。目的に合わせて適切なマニュアルをお読みください。

- はじめにお読みください（紙）
本製品をお使いになるうえでの注意事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みください。
- スタートアップガイド（本ガイド）
本製品の設置方法、接続方法、設定方法が記載されています。
- コマンドリファレンス（Webサイト）
本製品を設定するためのコマンドの形式と、使用例が記載されています。下記のWebサイトで公開されています。
ヤマハネットワーク機器マニュアル：<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/manual.html>
- 技術資料（Webサイト）
本製品の機能についての詳しい情報が記載されています。下記のWebサイトで公開されています。
ヤマハネットワーク機器の技術資料：<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/>
- 「Web設定画面」のヘルプ
各設定項目についての詳しい説明が記載されています。

1.5. 本ガイドの表記について

- 本ガイドの記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本ガイドは、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハWebサイトからダウンロードできます。
ヤマハネットワーク機器マニュアル：<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/manual.html>
- 本ガイドに記載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- 本ガイドではそれぞれの社名・製品について、以下のように略称で記載しています。
 - ヤマハL2スイッチ SWX2310-52GT、SWX2310-28GT、SWX2310-18GT、SWX2310-10G：本製品
 - 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tケーブル：LANケーブル

- 本ガイドに記載されている会社名、製品名は各社の登録商標あるいは商標です。
 - Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本ガイドに記載されている記号とその内容は以下のとおりです。



警告：「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意：「傷害を負う可能性が想定される」内容です。



注意：製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、お守りいただく内容です。



重要：製品を正しく操作、運用するために、必ず知っておいていただきたい内容です。



メモ：操作や運用に関連した情報です。参考にお読みください。

- 本ガイドは、一部のモデルだけに関する記載を以下のように表します。

表記	内容
【SWX2310-52GT】	SWX2310-52GTだけに関する記載を表します。
【SWX2310-28GT】	SWX2310-28GTだけに関する記載を表します。
【SWX2310-18GT】	SWX2310-18GTだけに関する記載を表します。
【SWX2310-10G】	SWX2310-10Gだけに関する記載を表します。

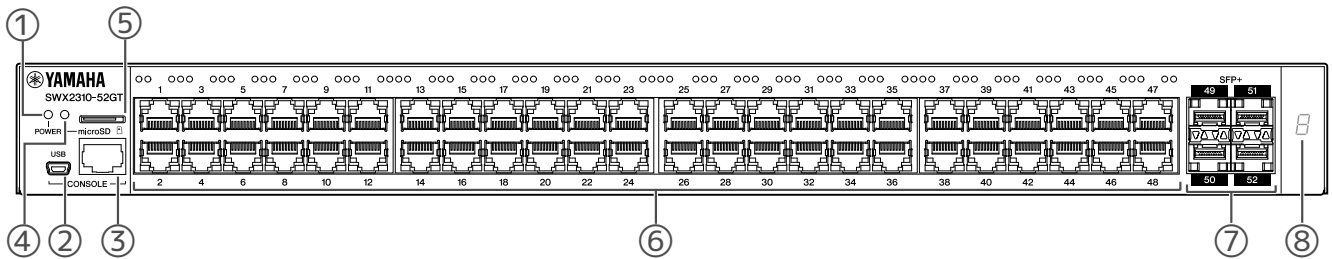


メモ：全モデルに共通する記載には、モデル名は付いていません。

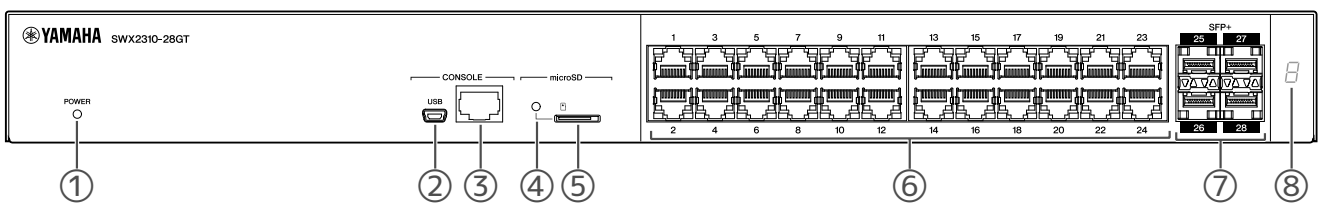
2. 各部の名称と機能

2.1. 前面

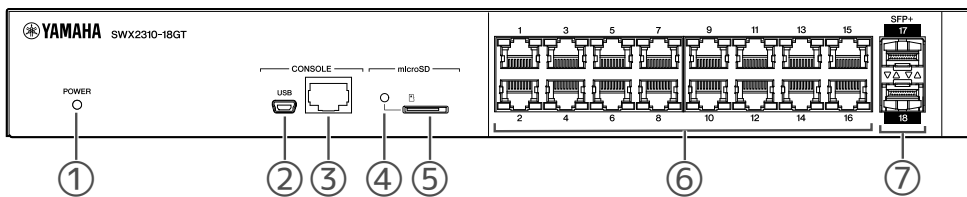
【SWX2310-52GT】



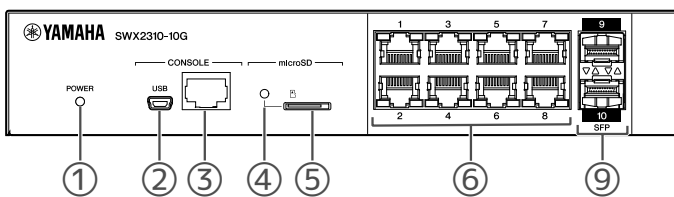
【SWX2310-28GT】



【SWX2310-18GT】



【SWX2310-10G】



① POWERランプ

通電時に点灯します。

POWERランプ	状態
消灯	電源OFF
点滅（緑色）	電源ON、起動中
点灯（緑色）	電源ON、正常
点灯（橙色）	電源ON、異常発生

注意：以下の異常を検知するとPOWERランプが橙色で点灯します。検知された異常の状態を確認して適切に対応してください。



- ・ ファンの停止【SWX2310-52GT】
本製品で発生した熱を排出するファンが停止しています。
すぐに使用を中止し、必ずご購入の販売店に修理や点検をご依頼ください。
- ・ 本製品内部温度の異常
本製品内部の温度が異常です。
本製品内部の温度が適正になるように、設置環境を見直して本製品を正しく設置してください。

show environment コマンドで、温度異常とファン異常を確認できます。
コマンドに関する詳細についてはコマンドリファレンス（ヤマハWebサイト）をご覧ください。

② mini-USB CONSOLEポート

設定用のmini-USBポートです。パソコンのUSBポートとUSBケーブルで接続します。USB Type AコネクタとUSB mini-B（5ピン）コネクタのUSBケーブルをご使用ください。



メモ：データ通信対応のケーブルをご用意ください。充電専用ケーブルはご使用できません。

③ RJ-45 CONSOLEポート

設定用のRJ-45ポートです。パソコンのRS-232C端子（COMポート）と、RJ-45/DB-9コンソールケーブルで接続します。

④ microSDランプ

microSD カードの接続、使用状態を示します。

microSDランプ	状態
消灯	microSDカードがスロットに挿入されていません。
点滅（緑色）	microSDカードにアクセスしています。
点灯（緑色）	microSDカードが挿入されています。



注意：緑点滅しているときには、microSDカードを取り出さないでください。

⑤ microSDスロット

microSDカードを挿入するスロットです。

⑥ LANポート

10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tのポートです。
IEEE802.3az Energy Efficient Ethernet（EEE）に対応しており、イーサネット通信の省電力を実現できます（低消費電力モード）。
低消費電力モードの設定について詳しくは、コマンドリファレンス（ヤマハWebサイト）をご覧ください。

⑦ SFP+ポート【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】【SWX2310-18GT】

1000BASE-SX、1000BASE-LX、10GBASE-SR、10GBASE-LRのポートです。
別売のSFPモジュール（YSFP-10G-SR、YSFP-10G-LR、YSFP-G-SXA、YSFP-G-LXA）やダイレクトアタッチケーブル（YDAC-10G-3M、YDAC-10G-1M）を装着します。
SFPモジュールの対応製品については、「[別売品](#)」をご覧ください。
SFPモジュールの取り付け方については、「[SFPモジュールを装着する](#)」をご覧ください。
ダイレクトアタッチケーブルの取り付けについては、「[ダイレクトアタッチケーブルを装着する【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】【SWX2310-18GT】](#)」をご覧ください。
このポートはスタック接続でも使用します。スタック接続については「[スタック接続する【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】](#)」をご覧ください。

⑧ Stack ID表示ランプ【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】

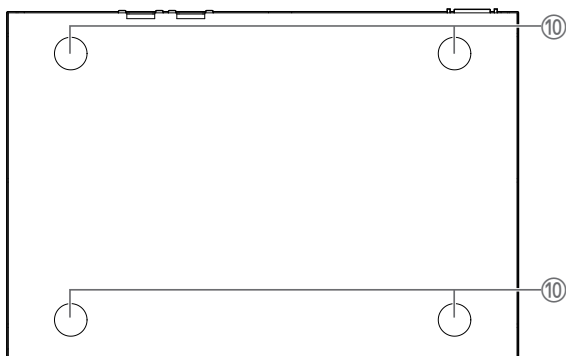
スタック接続時のStack IDを表示します。
スタック接続していない場合、'1'を表示します。

⑨ SFPポート【SWX2310-10G】

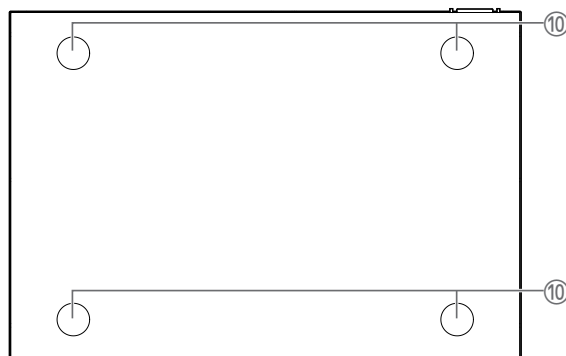
1000BASE-SX、1000BASE-LXのポートです。
別売のSFPモジュール（YSFP-G-SXA、YSFP-GLXA）を装着します。
SFPモジュールの取り付け方については、「[SFPモジュールを装着する](#)」をご覧ください。

2.2. 底面

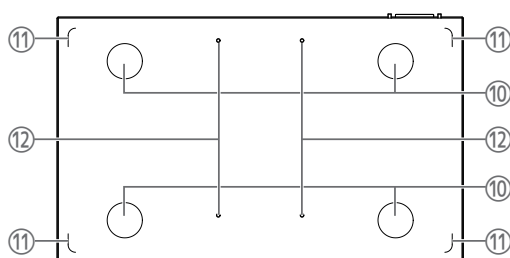
【SWX2310-52GT】



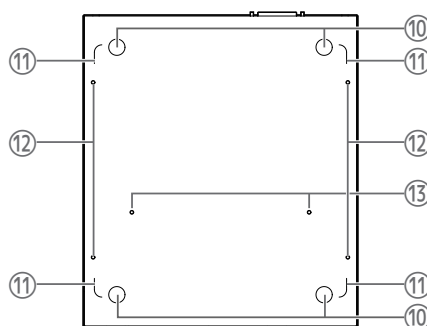
【SWX2310-28GT】



【SWX2310-18GT】

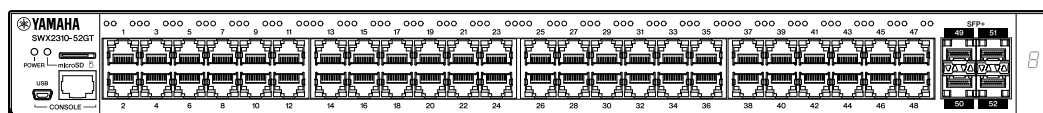


【SWX2310-10G】



⑩ レッグ取り付けガイド

水平置きに設置する場合に、付属のレッグを取り付ける位置を示しています。取り付け方は「設置」の「[水平置きで設置する](#)」をご覧ください。
水平置きで設置する場合は、付属のレッグを図のように取り付けてください。



レッグ

⑪ マグネットシート取り付けガイド【SWX2310-18GT】 【SWX2310-10G】

スチール製壁面に設置する場合に、付属のマグネットシートを取り付ける位置を示しています。取り付け方は「設置」の「[スチール製壁面に設置する【SWX2310-18GT】 【SWX2310-10G】](#)」をご覧ください。

⑫ ウォールマウントキット取り付け穴【SWX2310-18GT】 【SWX2310-10G】

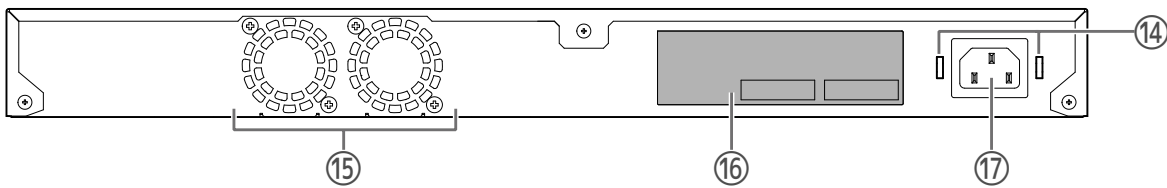
ウォールマウントキットYWK-1200Dを取り付ける際に使用します。取り付け方は「設置」の「[壁面に設置する【SWX2310-18GT】 【SWX2310-10G】](#)」をご覧ください。

⑬ ラックマウントキット取り付け穴【SWX2310-10G】

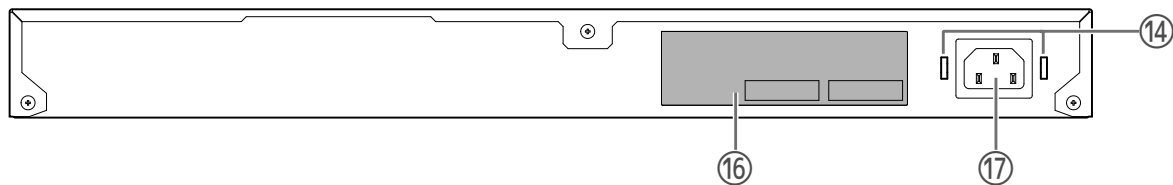
ラックマウントキットYMO-RACK1Uを取り付ける際に使用します。取り付け方は「設置」の「[19インチラックに設置する【SWX2310-10G】](#)」をご覧ください。

2.3. 背面

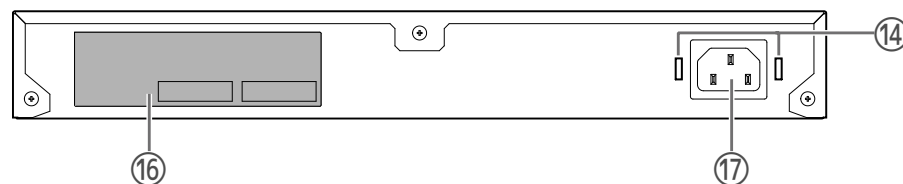
【SWX2310-52GT】



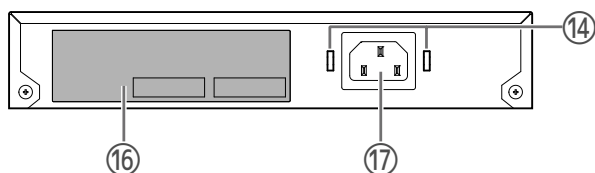
【SWX2310-28GT】



【SWX2310-18GT】



【SWX2310-10G】



⑭ 電源コード抜け防止金具取り付け穴

付属の電源コード抜け防止金具（コの字型）を取り付けます。取り付け方は「接続」の「[電源コードを接続する](#)」をご覧ください。

⑮ ファン【SWX2310-52GT】

内部で発生する熱を強制的に排出します。異常を検知するとSTATUSランプが橙色で点滅します。



警告：ファンの排出口をふさいだり、周囲に物を置いたりしない。
火災や故障の原因になります。

⑯ 製品ラベル

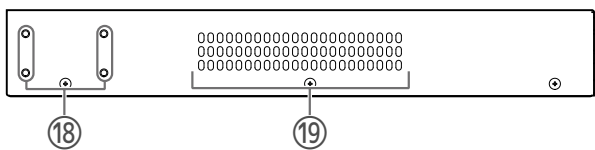
本製品の機器名、製造番号、MACアドレスなどを記載しています。

⑰ 電源インレット（3極コネクター、C14タイプ）

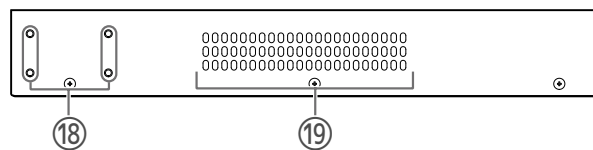
付属の電源コードを差し込みます。AC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続します。

2.4. 側面

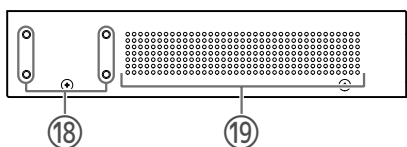
【SWX2310-52GT】



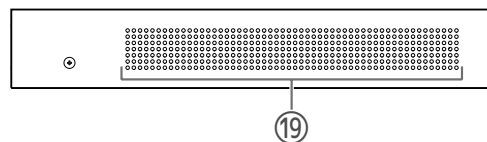
【SWX2310-28GT】



【SWX2310-18GT】



【SWX2310-10G】



⑱ ラックマウント用金具取り付け穴【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】【SWX2310-18GT】

19インチラック（1U）に取り付ける際に使用します。取り付け方は「設置」の「[19インチラックに設置する【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】【SWX2310-18GT】](#)」をご覧ください。

⑲ 通風口

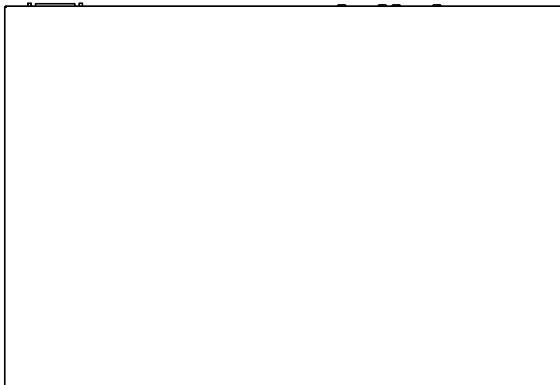
本製品に開けられた穴は、外気を取り込むための通風口です。



**警告：通風口をふさいだり、周囲に物を置いたりしない。
火災や故障の原因になります。**

2.5. 上面

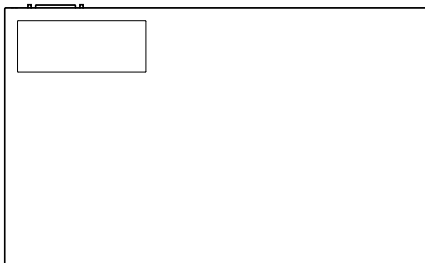
【SWX2310-52GT】



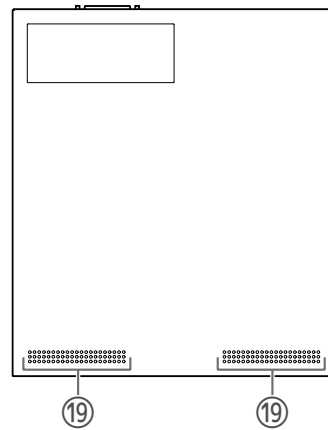
【SWX2310-28GT】



【SWX2310-18GT】



【SWX2310-10G】



①⑨ 通風口

本製品に開けられた穴は、外気を取り込むための通風口です。



**警告：通風口をふさいだり、周囲に物を置いたりしない。
火災や故障の原因になります。**

2.6. 表示モードの切り替え

表示モードには、リンク状態や接続速度を表示するLINK/ACTモード、エラー状態を表示するSTATUSモード、ポートのランプを消灯するOFFモードがあります。

通常時は、LINK/ACTモードまたはOFFモードで運用します。エラー発生時は、STATUSモードへ遷移し、エラー状態が復旧するとLINK/ACTモードまたはOFFモードに戻ります。STATUSモードは、自動遷移になります。

手動でのSTATUSモードへの切り替えはできません。

各表示モードの遷移は下表をご覧ください。

初期表示モード：LINK/ACTモードの場合

モード名	モード切り替え	説明
LINK/ACT	通常	LAN/SFP/SFP+ポートの左ランプにリンク状態、右ランプに接続速度を表示します。



STATUS	エラー発生（復旧でLINK/ACTモードへ自動切り替え）	LAN/SFP/SFP+ポートのエラー状態を表示します。
--------	------------------------------	------------------------------

初期表示モード：OFFモードの場合

モード名	モード切り替え	説明
OFF	通常	LAN/SFP/SFP+ポートのランプとStack ID表示ランプを消灯します。



STATUS	エラー発生（復旧でOFFモードへ自動切り替え）	LAN/SFP/SFP+ポートのエラー状態を表示します。
--------	-------------------------	------------------------------

メモ



- 工場出荷時の初期表示モードは、LINK/ACTモードに設定されています。
- show led-mode** コマンドにより初期表示モード、現在表示中の表示モードを確認することができます。

2.6.1. 初期表示モードの切り替え

初期表示モード（LINK/ACTモード、OFFモード）の設定は、**led-mode default**コマンドで切り替えます。



メモ：ここでは、「[CONSOLEポートに接続したパソコンからのログイン](#)」または「[Telnetを使用してコマンドラインで設定する](#)」でログインしたことを前提に、「LINK/ACTモード▶OFFモード」に変更する場合は説明します。

1. **enable**を入力し、[Enter]キーを押します。
特権EXECモードに変更します。

```
SWX2310>enable
SWX2310#
```

2. **configure terminal**を入力し、[Enter]キーを押します。
コマンド入力モードをグローバルコンフィグレーションモードに変更します。

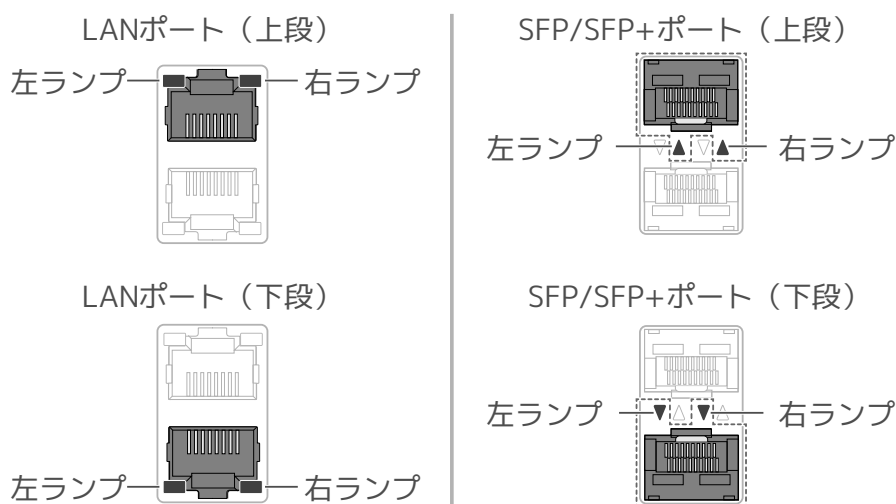
```
SWX2310#configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
SWX2310(config)#
```

3. **led-mode default off**を入力し、[Enter]キーを押します。
OFFモードに変更します。

```
SWX2310(config)#led-mode default off
SWX2310(config)#exit
SWX2310#
```

2.7. ポートのランプ

LANポート、SFP/SFP+ポートのランプで、各モードでのポートの状態を示します。



2.7.1. LINK/ACTモード

LANポート、SFP/SFP+ポートのリンク状態と接続速度を表示します。

LANポート

左ランプ	リンクの状態
消灯	リンクを喪失しています。(使用不可)
点灯 (緑色)	リンクを確立しています。(使用可能)
点滅 (緑色)	データが流れています。

右ランプ	接続速度
消灯	未接続、または10BASE-Tで接続しています。
点灯 (橙色)	100BASE-TXで接続しています。
点灯 (緑色)	1000BASE-Tで接続しています。

SFP/SFP+ポート

左ランプ	リンクの状態
消灯	リンクを喪失しています。(使用不可)
点灯 (緑色)	リンクを確立しています。(使用可能)
点滅 (緑色)	データが流れています。

右ランプ	接続速度
消灯	未接続
点灯 (緑色)	1000BASE-SX/LX、10GBASE-SR/LRで接続しています。 YDAC-10G-3M、YDAC-10G-1Mを使用している場合は、10 Gbpsで接続しています。

2.7.2. STATUSモード

LANポート、SFP/SFP+ポートのエラー状態を示します。

以下のエラーを検出すると強制的にSTATUSモードに切り替わり、ポート左右のランプが橙色に点滅します。

- ・ ループの検出
- ・ SFP受光レベル異常の検出

LANポート

左ランプ	右ランプ	エラー情報
消灯	消灯	正常
点滅（橙色）	点滅（橙色）	ループを検出しました。 ポートをブロックまたはシャットダウンしました。

SFP/SFP+ポート

左ランプ	右ランプ	状態
消灯	消灯	正常 ループは検出されていません。SFPの受光レベルは正常範囲にあります。
点滅（橙色）	点滅（橙色）	ループまたはSFP受光レベル異常を検出しました。

詳しくは以下のWebサイトより本製品のページをご覧ください。

ヤマハネットワーク機器の技術資料：<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/>

メモ



- ・ エラー要因については、**show error port-led**コマンドで確認することができます。
- ・ すべてのエラーが解消されると、自動的に初期表示モードに切り替わります。

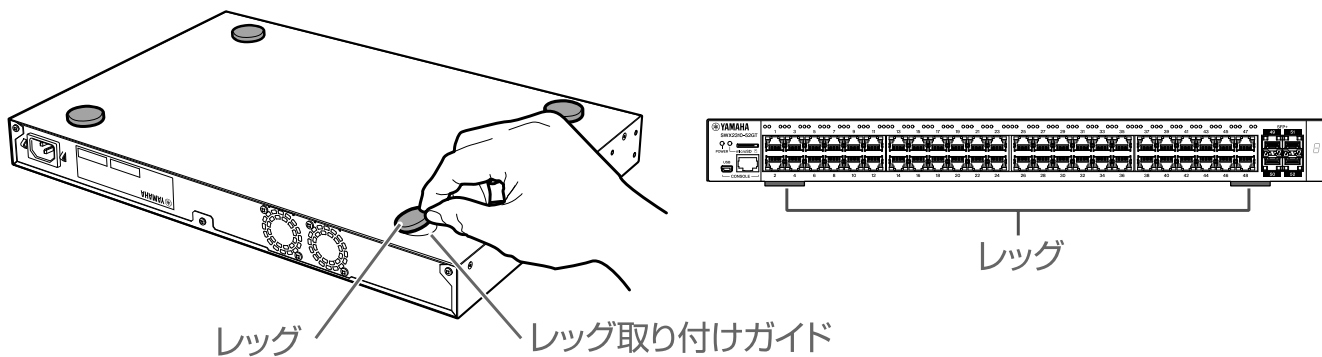
2.7.3. OFFモード

LANポート、SFP/SFP+ポートのランプおよびStack ID表示ランプを消灯します。

3. 設置

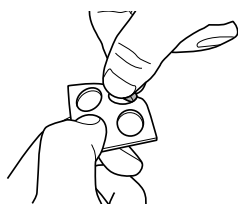
3.1. 水平置きで設置する

付属のレッグをレッグ取り付けガイドの位置に図のように取り付け、デスクの上などの水平な場所に設置します。



メモ

- SWX2310-52GT、SWX2310-28GT、SWX2310-18GTには、4個のレッグが同梱されています。
- SWX2310-10Gには、4個のレッグが1つのシートに貼られて同梱されています（下図）。



3.2. 19インチラックに設置する【SWX2310-10G】

SWX2310-10Gは、別売のラックマウントキットYMO-RACK1Uを使用して取り付けます。取り付け方や注意事項など、詳細についてはラックマウントキット付属の「YMO-RACK1U取扱説明書」をご覧ください。

【取り付け方法】

中央ブロックに取り付ける場合を例に説明します。左右ブロックに取り付ける場合も、以下の手順に従ってください。

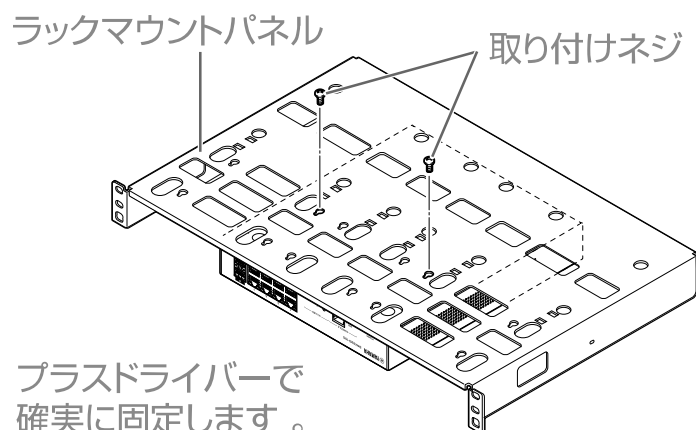


警告：取り付け、取り外しのときは、必ず本製品の電源プラグをコンセントから抜く。感電や故障の原因になります。



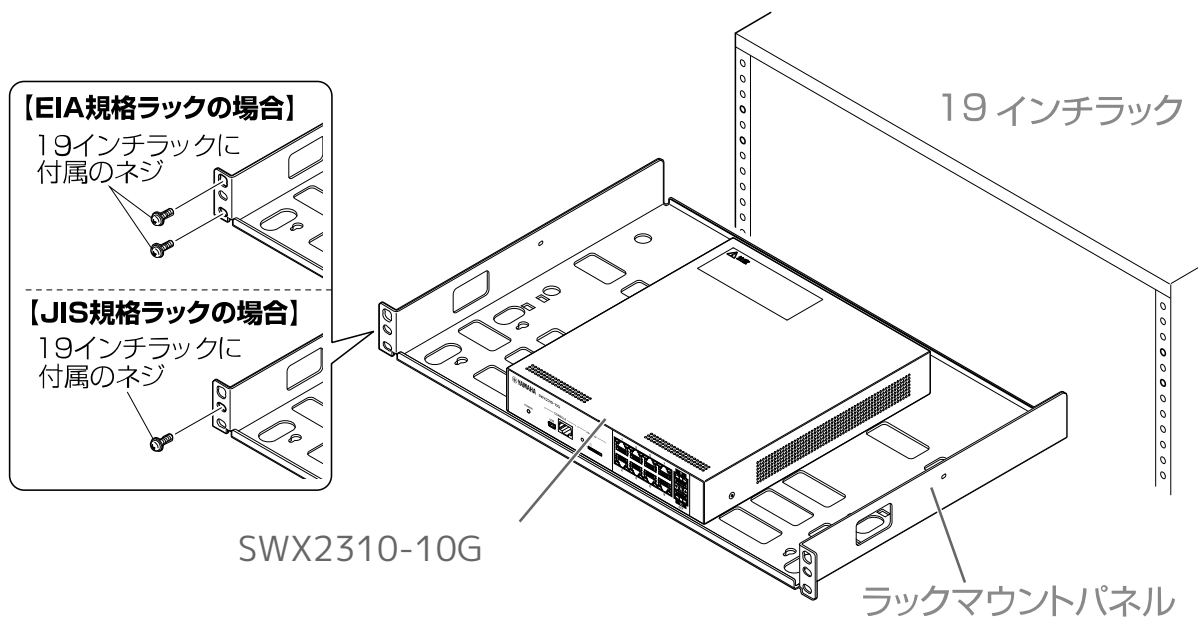
重要：本製品の底面にレッグを取り付けている場合は、取り外してからマウントパネルを取り付けてください。

1. ラックマウントパネルに本製品を取り付けます。
ラックマウントパネルに付属の取り付けネジ（2本）を使用し、本製品の底面にラックマウントパネルを固定します。

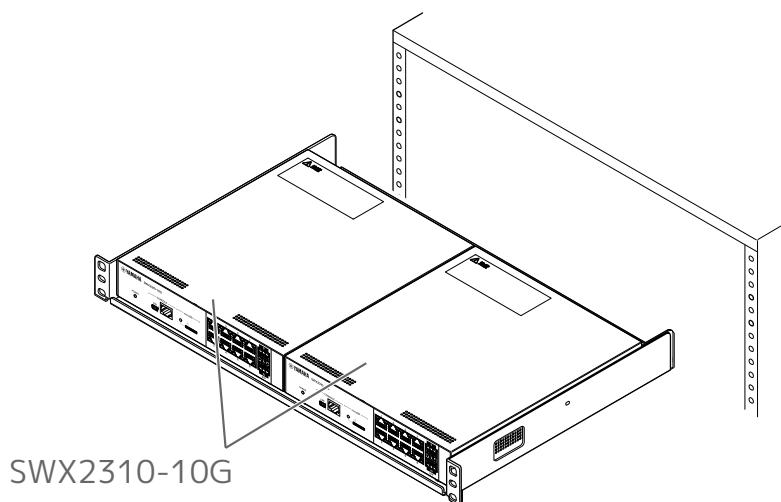


警告：本製品を別売ラックマウントキットYMO-RACK1Uに取り付けるときは、必ずマウントキット付属の指定されたネジを使用する。落下によるけがや機器破損の原因になります。また、感電や故障の原因になります。

- ラックマウントパネルを19インチラックに取り付けます。
19インチラックに付属の取り付けネジ（EIA規格4本、JIS規格2本）を使用し、19インチラックに本製品を取り付けます。取り付けネジがゆるまないように、十分に締め付けてください。



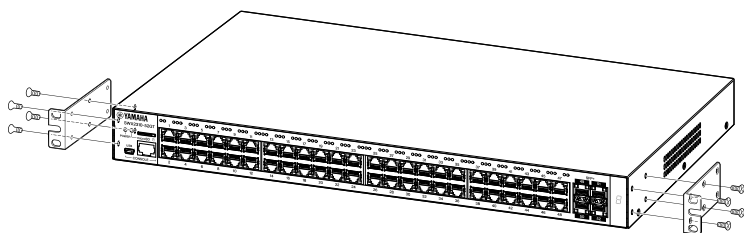
下図のようにSWX2310-10Gを2台取り付けることもできます。



警告：本製品の上面とラックマウントパネルの側面にある通風口をふさがない。
火災や故障の原因になります。

3.3. 19インチラックに設置する【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】【SWX2310-18GT】

SWX2310-52GT、SWX2310-28GT、SWX2310-18GTは19インチラックマウント1Uサイズに適合します。19インチラックに組み込む場合は、付属のラックマウント用金具（2個）を付属のネジ（8本）を使用して固定します。



プラスドライバーで確実に固定します。

警告



- ・ 取り付け、取り外しのときは、必ず本製品の電源プラグをコンセントから抜く。感電や故障の原因になります。
- ・ 必ず付属の19インチラックマウント用金具とネジを使用する。落下によるけがや機器破損の原因になります。また、感電や故障の原因になります。
- ・ 本製品の側面にある通風口、および背面にあるファンの排出口をふさがない。火災や故障の原因になります。



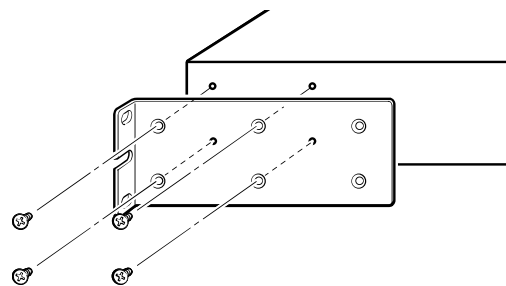
注意：19インチラックに扉がある場合には、本体を組み込んで通信ケーブルや電源コードを配線した後に、ぶつかることがないように十分注意してください。



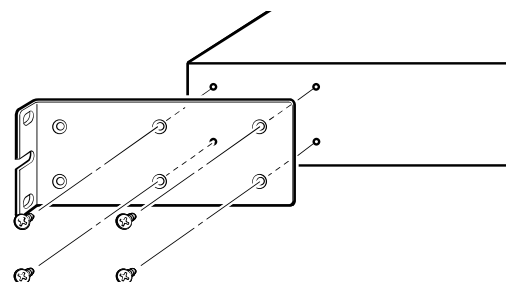
メモ：19インチラックへの取り付けネジは付属していません。

本製品に19インチラックマウント用金具を取り付けるには、以下の2つの方法があります。

方法A：19インチラックマウント用金具のラックネジ面と本製品の前面を、同一面にして取り付ける
通常はこちらの方法で取り付けます。



方法B：方法Aよりも、本製品を4cm奥に取り付ける
19インチラックに扉がついている場合は、こちらの方法で取り付けます。本製品の前面に挿入したLANケーブルがラックの扉に接触しないよう、本製品を奥に取り付けます。



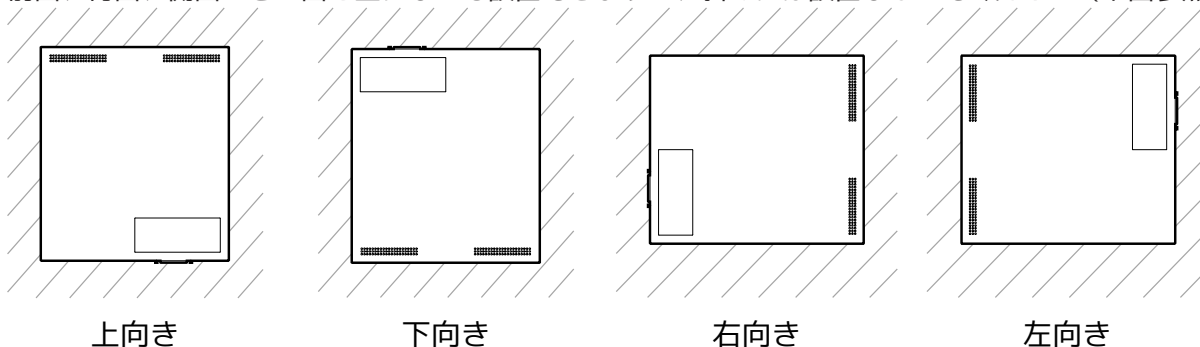
メモ：イラストのラックマウント用金具は、SWX2310-52GT用とSWX2310-28GT用です。SWX2310-18GT用は、19インチラックへの取り付け部が長くなっています。

3.4. スチール製壁面に設置する【SWX2310-18GT】【SWX2310-10G】

付属のマグネットシートを使用して設置します。

【取り付けパターン】

前面、背面、側面のどの面を上にしても設置できますが、斜めには設置しないでください（下図参照）。



警告：取り付け、取り外しのときは、必ず本製品の電源プラグをコンセントから抜く。感電や故障の原因になります。

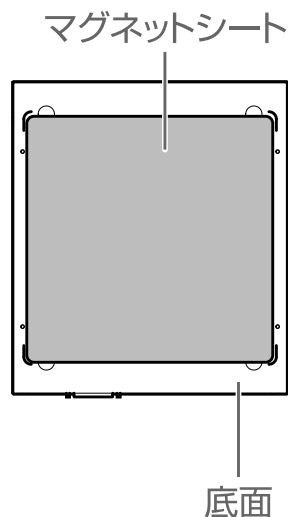
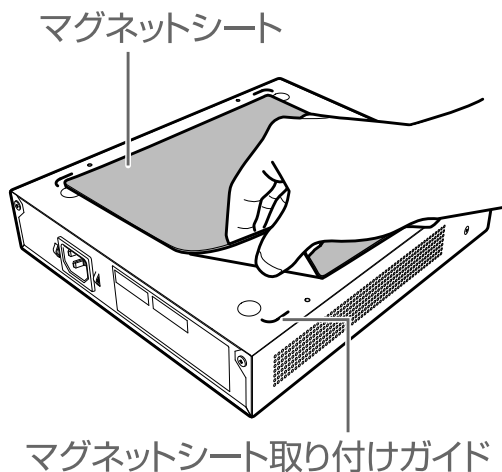


注意：本製品を、高所または天井に取り付けない。
設置する場合は、高さ200cm以内に設置してください。
落下によるけがや機器破損の原因になります。



重要：本製品の底面にレッグを取り付けている場合は、取り外してからマグネットシートを取り付けてください。

1. 本製品にマグネットシートを取り付けます。
付属のマグネットシートを、本製品底面のマグネットシート取り付けガイドに沿って貼ります。マグネットシートは、どちらの面も磁力の強さは同じです。



注意：付属品以外のマグネットシートを使用しない。また、付属品のマグネットシートを他の機器を取り付けるために使用しない。
本製品や他の機器が落下して、けがの原因になります。

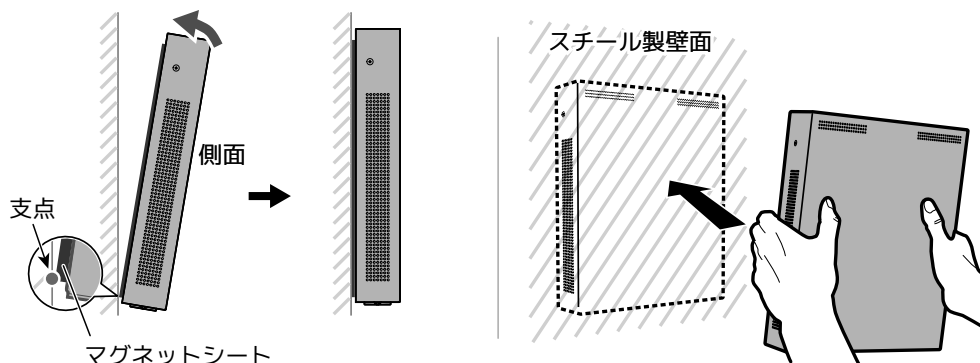
注意



- マグネットシートを切って使用しないでください。小さく切り分けて使用した場合、本製品が落下するおそれがあります。
- マグネットシートを取り付けた本製品を、スイッチなどのネットワーク機器に重ねて設置しないでください。機器の転倒や誤動作の原因となるおそれがあります。

2. 本製品を壁面に取り付けます。

取り付けを容易にするために、本製品の下部を支点にすることをおすすめします。



注意



- **本製品を壁面に設置するときは、本製品と壁面の間に指を入れない。**
マグネットシートの磁力は強力です。指がはさまり、けがの原因になります。
- **本製品をマグネットシートで壁面に設置したあと、機器をずらさない。**
接着面が小さくなるため、本製品が落下し、けがや機器破損の原因になったり、被着面の塗装などに傷がついたりするおそれがあります。
- **ケーブルは必ず壁面などに固定する。**
ケーブルに手や足が引っかかると本製品が落下し、けがや機器破損の原因になります。

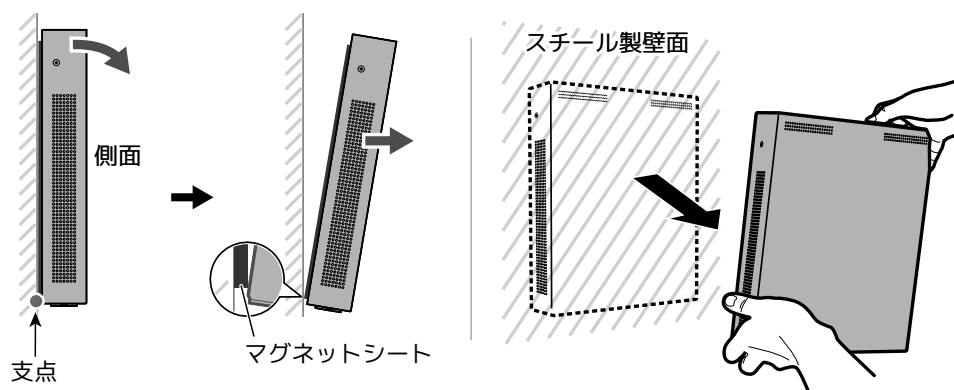
注意



- 設置面の状態によっては十分な設置強度を得られない場合があります。取り付けの際、問題がないか確認してください。
- マグネットシート全体が壁面に密着するように取り付けてください。
- 壁面に取り付けた際、マグネットシートと壁の間にケーブルなどが挟まっていないことを確認してください。

3.5. スチール製壁面から取り外す【SWX2310-18GT】【SWX2310-10G】

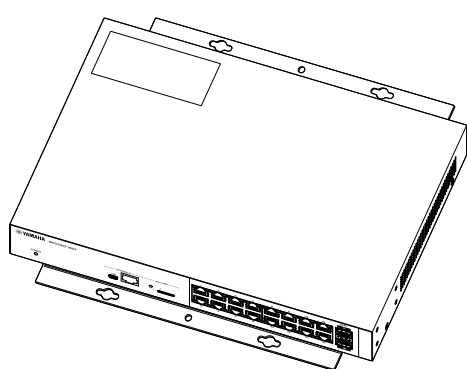
取り外しを容易にするために、本製品の下部を支点にすることをおすすめします。また、端子に触れないよう、図のように持つことをおすすめします。



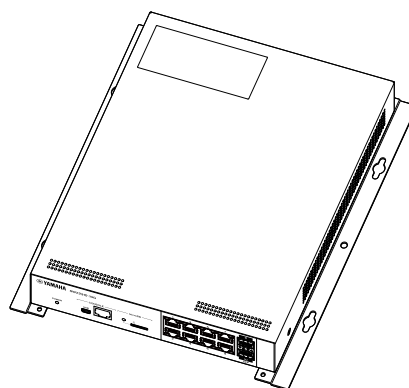
注意：本製品を壁面から取り外すときは、本製品をしっかり持つ。
マグネットシートの磁力は強力です。本製品が落下して、けがの原因になります。

3.6. 壁面に設置する【SWX2310-18GT】【SWX2310-10G】

別売のウォールマウントキットYWK-1200Dを使用して設置します。取り付け方や注意事項など、詳細についてはウォールマウントキット付属の「YWK-1200D 取扱説明書」をご覧ください。



SWX2310-18GT



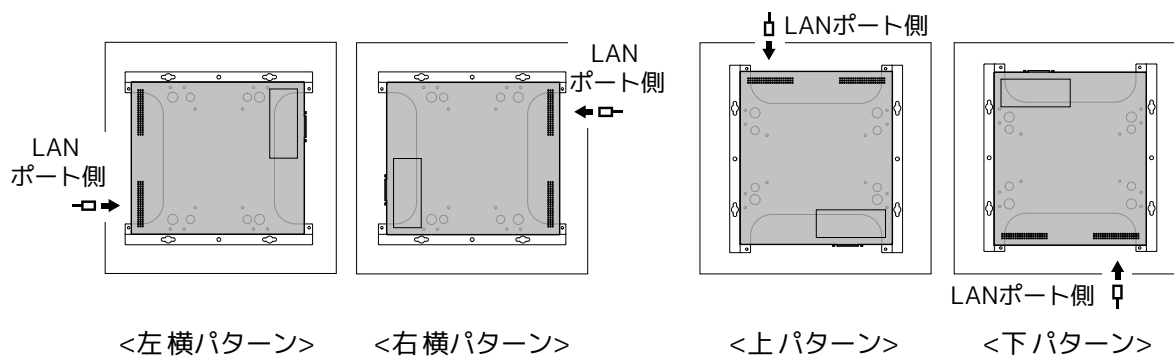
SWX2310-10G

ご用意いただくもの

- 壁用取り付けネジ（6本）
本製品およびウォールマウントキットには、壁に取り付けるためのネジは同梱しておりません。市販のネジをお買い求めください。
取り付ける壁の材質によって、ネジの種類と長さが異なります。必ず取り付ける壁の材質、厚みをご確認いただき、壁の材質に合ったネジをご使用ください。

取り付けパターン

前面、背面、側面のどの面を上にしても設置できますが、斜めには設置しないでください（下図参照）。



警告：取り付け、取り外しの際は、必ず本製品の電源プラグをコンセントから抜く。感電や故障の原因になります。



注意：本製品を、高所または天井に取り付けない。
設置する場合は、高さ200cm以内に設置してください。
落下によるけがや機器破損の原因になります。

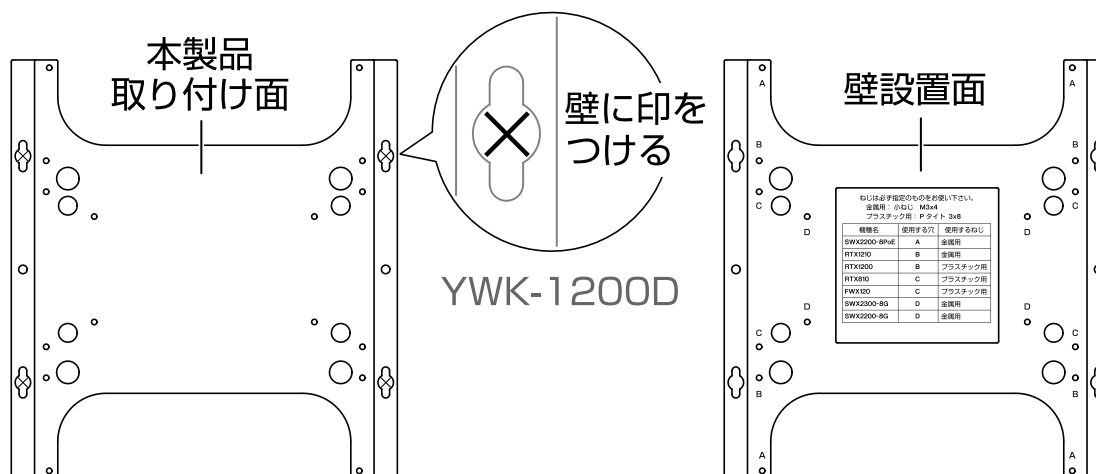
メモ



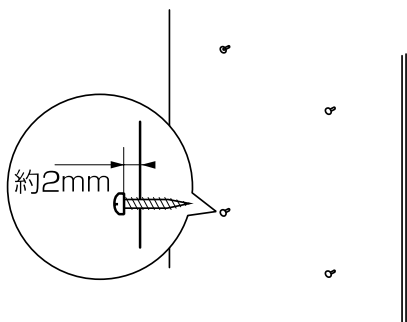
- マウント金具には、本製品を取り付ける面と壁に取り付ける面があります。取り付け面を間違えると、マウント金具を本製品に取り付けることができません。取り付け面については、手順1と手順3のイラストをご覧ください。
- 製品本体とマウント金具の位置関係が、SWX2310-18GTとSWX2310-10Gとでは90度ずれます。

取り付け手順

- マウント金具を壁に当て、取り付け位置に印をつけます。

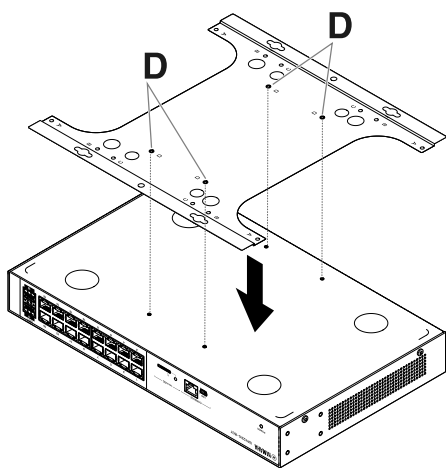


- 手順1で印をつけた取り付け位置に、市販のネジ（4本）を仮止めします。
その際に、壁とネジのくび下に約2mmのマウント金具引っ掛けしろを残してください（下図）。

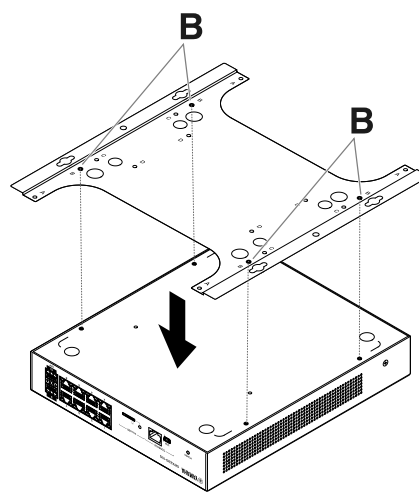


注意：必ず壁の材質に適合したネジを使用する。
落下によるけがや機器破損の原因になります。

- 本製品にマウント金具を合わせます（下図）。



SWX2310-18GT



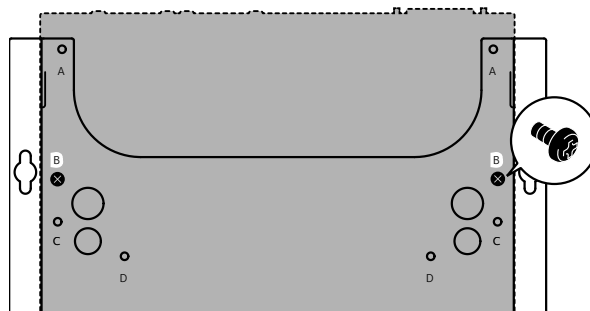
SWX2310-10G



重要：本製品の底面にレッグを取り付けている場合は、取り外してからマウント金具を取り付けてください。

- マウント金具を付属のネジ（4本）で本製品に取り付けます。
プラスドライバーで確実に固定します。

- 使用するネジ穴
 - SWX2310-18GT : D
 - SWX2310-10G : B
- 使用するネジ：金属筐体用（黒色 小M3×4）



警告：必ずウォールマウントキット付属の指定されたネジを使用する。
落下によるけがや機器破損の原因になります。また、感電や故障の原因になります。

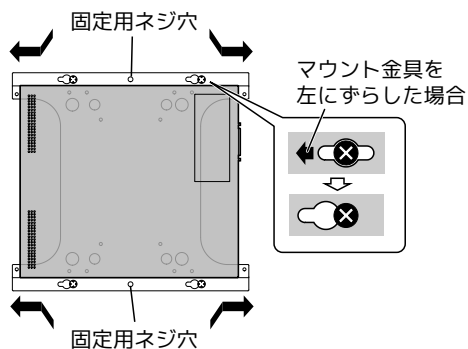


注意：マウント金具の角に手や指をかけるときは、注意する。
けがの原因になります。

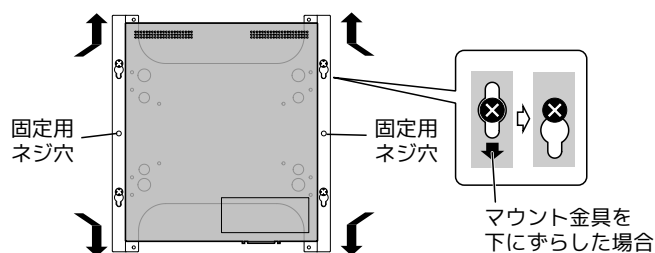
5. 壁に取り付けた市販のネジに、組み上げたマウント金具を引っ掛けてずらしします。
取り付ける向きに合わせて、マウント金具をずらしてください（下図参照）。

- 横向きに取り付ける場合：左または右にずらす
- 縦向きに取り付ける場合：下にずらす

【横向きに取り付ける場合】



【縦向きに取り付ける場合】



注意：本製品を落下させない。
落下によるけがや機器破損の原因になります。

- 仮止めした市販のネジを増し締めし、マウント金具を固定します。
- マウント金具の固定用ネジ穴（2箇所）に市販のネジを取り付けます。

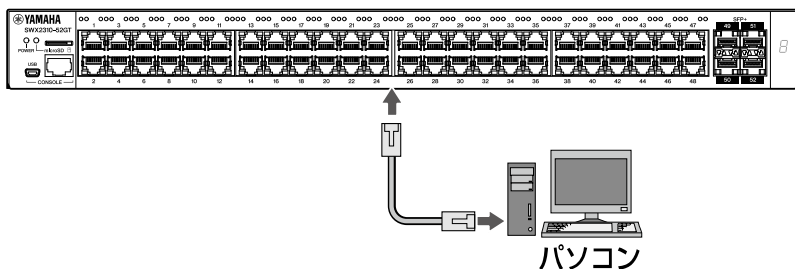


注意：必ず壁の材質に適合したネジを使用する。
落下によるけがや機器破損の原因になります。

4. 接続

4.1. ネットワーク機器やパソコンを接続する

ネットワーク機器やパソコンのLANポートと、本製品のLANポートを、LANケーブルで接続します。



光ファイバーケーブルで接続するときは、SFP/SFP+ポートにSFPモジュールを装着します。装着手順については「[SFPモジュールを装着する](#)」をご覧ください。

注意



- ・本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティを保つため必ずルーターなどを経由し接続してください。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定してください。電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆無線LANを含む）には直接接続しないでください。
- ・LANポートとRJ-45 CONSOLEポートのコネクタ形状は、同じ8ピンコネクタです。これらを間違えて接続すると、ハードウェアの破壊や故障につながります。十分に確認してから接続してください。



メモ：初期表示モードの切り替えでLINK/ACTモードにすると、ネットワーク機器やパソコンとの接続状態を確認できます。モードの切り替えや接続状態の詳細は「[表示モードの切り替え](#)」および「[ポートのランプ](#)」をご覧ください。

4.2. SFPモジュールを装着する

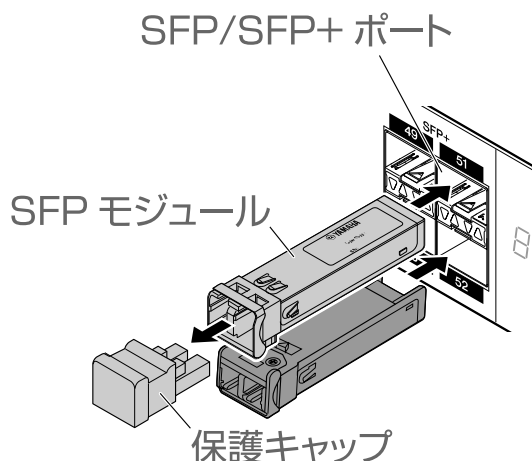
SWX2310-10GのSFPポートには、SFPモジュール（YSFP-G-SXA、YSFP-G-LXA）を装着することができます。

SWX2310-52GT、SWX2310-28GT、SWX2310-18GTのSFP+ポートには、SFPモジュール（YSFP-10G-SR、YSFP-10G-LR、YSFP-G-SXA、YSFP-G-LXA）を装着することができます。



メモ：取り付け、取り外し方法や注意事項など、詳細については各モジュール付属の「YSFP-G-SXA YSFP-G-LXA 取扱説明書」、「YSFP-10G-SR YSFP-10G-LR 取扱説明書」をご覧ください。

1. 本製品のSFP/SFP+ポートに付いているダストカバーを取り外し、SFPモジュールを差し込みます。



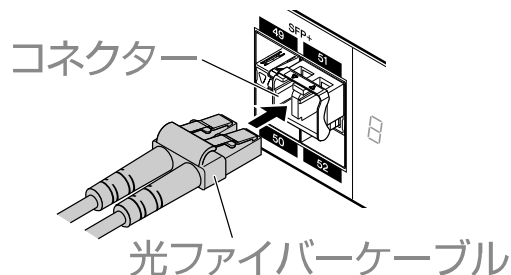
メモ：本製品はホットスワップに対応しているため、電源を切らずにSFPモジュールを装着することができます。

2. SFPモジュールから保護キャップを外します。



注意：SFPモジュールを装着したときは光源をのぞきこまない。
弊社別売のSFPモジュールはクラス1レーザー機器です。目に見えないレーザー光線が放射されているおそれがあります。レーザー光線が目に入ると、視覚に障害を及ぼすおそれがあります。

3. 各モジュールに対応した光ファイバーケーブルをコネクタに接続します。



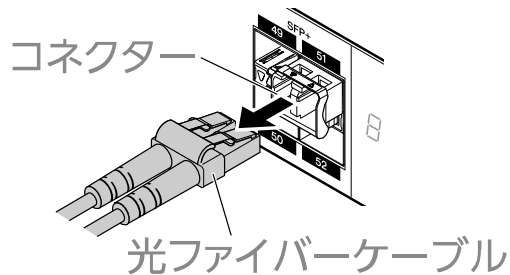
4.3. SFPモジュールを取り外す

本製品のSFP/SFP+ポートに装着したSFPモジュールを取り外します。

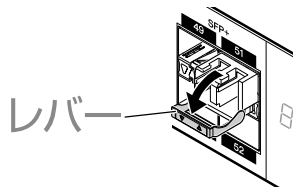


メモ：取り付け、取り外し方法や注意事項など、詳細については各モジュール付属の「YSFP-G-SXA YSFP-G-LXA 取扱説明書」、「YSFP-10G-SR YSFP-10G-LR 取扱説明書」をご覧ください。

1. 光ファイバーケーブルを取り外します。

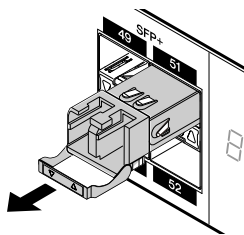


2. SFPモジュールを上段のポートに接続している場合は、SFPモジュールのレバーを下げます。下段のポートに接続している場合は、レバーを上げます。



注意：SFPモジュールを装着したときは光源をのぞきこまない。
弊社別売のSFPモジュールはクラス1レーザー機器です。目に見えないレーザー光線が放射されているおそれがあります。レーザー光線が目に入ると、視覚に障害を及ぼすおそれがあります。

3. レバーを持ってSFPモジュールを引き抜きます。

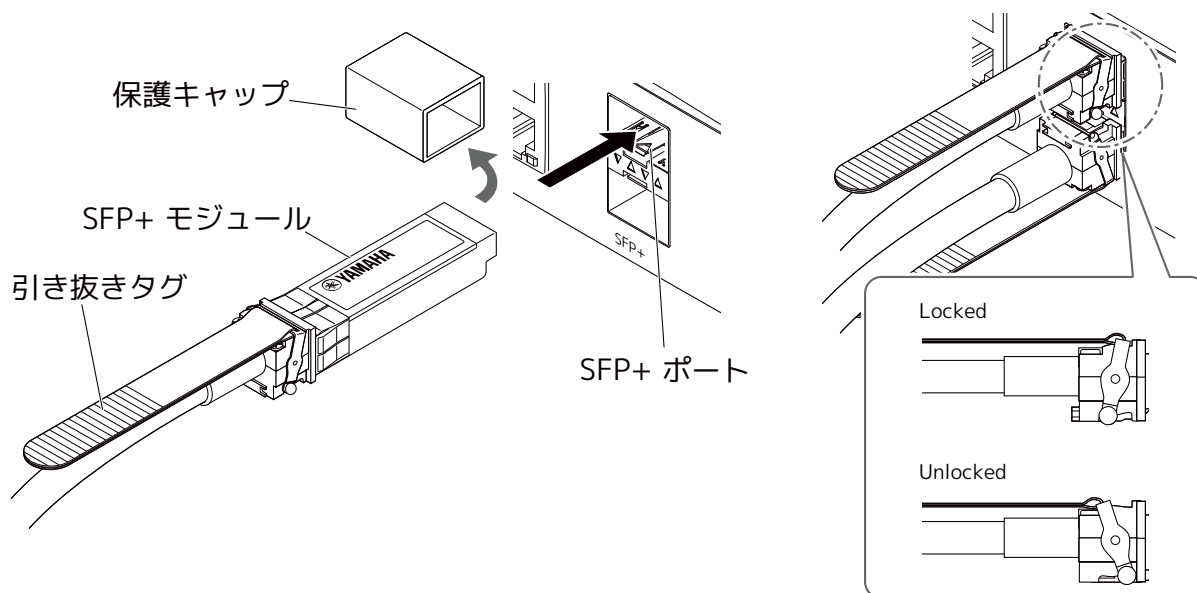


メモ：本製品は、ホットスワップに対応しているため、電源を切らずにSFPモジュールを取り外すことができます。

4.4. ダイレクトアタッチケーブルを装着する【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】【SWX2310-18GT】

SWX2310-52GT、SWX2310-28GT、SWX2310-18GTのSFP+ポートには、ダイレクトアタッチケーブル（YDAC-10G-3M、YDAC-10G-1M）を装着することができます。

1. ダイレクトアタッチケーブルのSFP+モジュール部の保護キャップと本製品のSFP+ポートのダストカバーを取り外します。
2. ダイレクトアタッチケーブルのSFP+モジュール部を持ち、本製品のSFP+ポートにしっかりと差し込みます。



注意：ダイレクトアタッチケーブル（YDAC-10G-3M、YDAC-10G-1M）を使用してスタック接続する場合は、必ず接続する機器同士のアースが同電位となるように機器を接続する。

アースの電位が異なる機器同士をダイレクトアタッチケーブルで接続すると、誤動作や故障の原因となるおそれがあります。

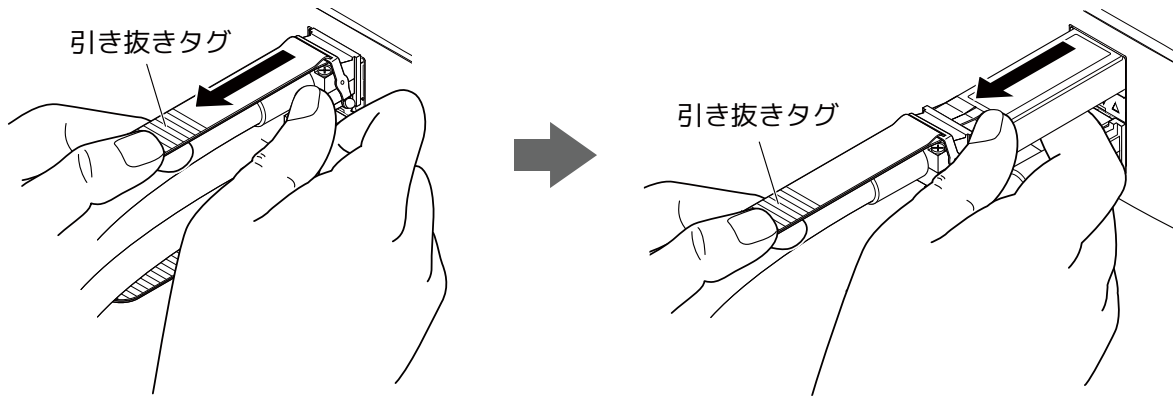


メモ：本製品はホットスワップに対応しているため、電源を切らずにダイレクトアタッチケーブルを装着することができます。

4.5. ダイレクトアタッチケーブルを取り外す【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】【SWX2310-18GT】

SWX2310-52GT、SWX2310-28GT、SWX2310-18GTのSFP+ポートに装着したダイレクトアタッチケーブルを取り外します。

1. 片方の手でSFP+モジュール部を奥側に押さえながら、もう片方の手で引き抜きタグを手前に引き、ロックを解除します。
2. ロックが解除されたら、引き抜きタグを引いたまま、SFP+モジュール部をゆっくり引き抜きます。



注意



- 本製品のケーブルを持って引き抜かないでください。故障の原因になります。
- 引き抜きタグのみを引っ張って引き抜かないでください。故障の原因になります。
- ロックが解除されたことを確認してから、引き抜いてください。無理に引き抜くと、本製品の故障や本製品を装着する製品の破損の原因になります。



メモ：本製品は、ホットスワップに対応しているため、電源を切らずにダイレクトアタッチケーブルを取り外すことができます。

4.6. スタック接続する【SWX2310-52GT】 【SWX2310-28GT】

SWX2310-52GT、SWX2310-28GTのSFP+ポートにダイレクトアタッチケーブル（YDAC-10G-3M、YDAC-10G-1M）または、SFPモジュール（YSFP-10G-SR、YSFP-10G-LR）を装着します。SFPモジュールを使用する場合は、別途SFPモジュールに適応した光ファイバーケーブルをご用意ください。

ダイレクトアタッチケーブルの装着、取り外し手順については「[ダイレクトアタッチケーブルを装着する【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】【SWX2310-18GT】](#)」、「[ダイレクトアタッチケーブルを取り外す【SWX2310-52GT】【SWX2310-28GT】【SWX2310-18GT】](#)」をご覧ください。

SFPモジュールの装着手順については「[SFPモジュールを装着する](#)」をご覧ください。



メモ：取り付け、取り外し方法や注意事項など、詳細についてはダイレクトアタッチケーブル付属の「YDAC-10G-3M YDAC-10G-1M 取扱説明書」、SFPモジュール付属の「YSFP-10G-SR YSFP-10G-LR 取扱説明書」をご覧ください。

スタック接続について、詳しくは以下のWebサイトより本製品のページをご覧ください。

ヤマハネットワーク機器の技術資料：<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/>

4.7. 電源コードを接続する

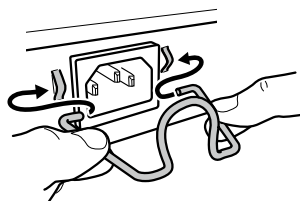
本製品の電源インレットとコンセントを、付属の電源コードで接続します。



メモ：本製品には電源スイッチはありません。本製品に接続した電源コードのプラグをコンセントに差し込むことで、電源が入ります。

1. 付属の電源コード抜け防止金具を取り付けます。

電源コードの不意の脱落を防止するために、付属の電源コード抜け防止金具（以下のイラストでは「付属の金具」）を電源コード抜け防止金具取り付け穴（以下のイラストでは「本体の穴」）に取り付けて電源コードを固定します。

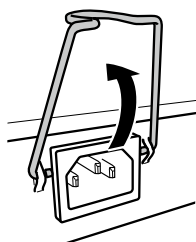


付属の金具を本体の穴に差し込む。

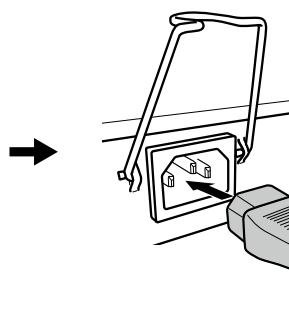


注意：付属の電源コード抜け防止金具は、付属の電源コード専用です。付属の電源コード以外では、コードが破損したり十分に固定されない可能性があります。

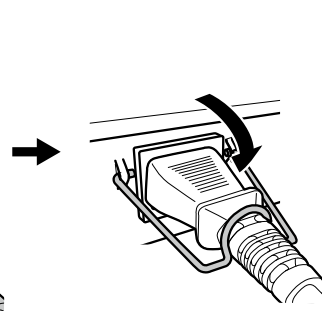
2. 付属の電源コードを電源インレットに接続し、金具で固定します。



①金具を持ち上げる。



②電源コードを接続する。



③金具を押し下げて固定する。

- 電源プラグをコンセントに接続します。
POWERランプが緑色で点灯します。



注意：POWERランプが橙色で点灯している場合は、以下のいずれかの異常が発生しています。異常状態を確認して、適切に対応してください。

- ° ファンの停止
すぐに使用を中止し、必ずご購入の販売店に修理や点検をご依頼ください。
- ° 本製品内部温度の異常
本製品内部の温度が適正になるように、設置環境を見直して本製品を正しく設置してください。

- ポートのランプを確認します。

show led-modeコマンドで本製品の表示モードを確認します。

表示モードがLINK/ACTモードであれば、ネットワーク機器やパソコンを接続したポートの左ランプ（LINK/ACT）が緑点灯または緑点滅していれば正常です。



メモ：ポートの左ランプ（LINK/ACT）が緑点灯または緑点滅しない場合は、ポートにケーブルが正しく接続されているかどうか、接続したネットワーク機器やパソコンの電源が入っているかどうか確認してください。
表示モードや接続状態の詳細は、「[表示モードの切り替え](#)」および「[ポートのランプ](#)」をご覧ください。

5. 設定

以下の方法で本製品の設定を行うことができます。

- [CONSOLEポートを使用してコマンドラインで設定する](#)
- [Telnetを使用してコマンドラインで設定する](#)
- [SSHを使用してコマンドラインで設定する](#)
- [Web GUIを使用して設定する](#)
- [本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す](#)

本製品へのログインには、一般ユーザーでログインする場合と、管理ユーザーでログインする場合があります。本章では、管理ユーザーでログインする手順を説明します。

また、使用するファームウェアによって、ログイン可能なユーザーが異なります。本製品が工場出荷時の状態の場合は、以下のユーザーでログインできます。

ファームウェア	ユーザー（工場出荷時の状態の場合）	備考
Rev.2.04.11以降	初期管理ユーザー「admin」 （初期パスワード「admin」）	ログイン後、パスワードを「admin」以外に変更する必要があります。
Rev.2.04.10以前	無名ユーザー （ユーザー名、パスワードともに空）	

以降、本章では、Rev.2.04.11以降のファームウェアを使用する場合のログイン手順を説明します。

重要

本製品の運用中に、ファームウェアをRev.2.04.10以前からRev.2.04.11以降にアップデートすると、ユーザーの設定が自動で変更される場合があります。



- 管理ユーザーを登録していない状態でアップデートした場合：
初期管理ユーザー「admin」が自動で追加されるため、初回は「admin」でログインする必要があります。
- ユーザーのパスワードを設定していない状態でアップデートした場合：
ユーザー名と同じパスワードでログインできます（セキュリティの観点から、ログイン後のパスワード変更を推奨します）。

詳しくは、以下のWebサイトで本製品のページをご覧ください。

ヤマハネットワーク機器の技術資料：<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/>

本製品で使用するコマンドの詳細は、コマンドリファレンスをご覧ください。

コマンドリファレンスは、以下のWebサイトで公開されています。

ヤマハネットワーク機器マニュアル：<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/manual.html>

5.1. CONSOLEポートを使用してコマンドラインで設定する

CONSOLEポートを使用するために必要なケーブル、ドライバー、ソフトウェア、設定について説明します。

5.1.1. コンソールケーブルの準備

パソコンと本製品のCONSOLEポートを、USBケーブルまたはRJ-45/DB-9コンソールケーブルで接続します。mini-USB CONSOLEポートに接続するUSBケーブルは、USB Type AコネクタとUSB mini-B（5ピン）コネクタのデータ通信対応のUSBケーブルをご使用ください。充電専用ケーブルはご使用できません。

5.1.2. USBシリアルドライバーのインストール

mini-USB CONSOLEポートを使用する場合は、あらかじめUSBシリアルドライバーのインストールが必要です。

USBシリアルドライバーのインストール手順については、「ヤマハネットワーク機器USBシリアルドライバーインストールガイド」をご覧ください。

ヤマハネットワーク機器USBシリアルドライバーインストールガイド、およびインストーラーは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

ユーティリティダウンロード：<https://network.yamaha.com/support/download/utility/>

5.1.3. パソコンの準備

パソコンのシリアル（COM）ポートを制御するターミナルソフトウェアが必要です。ターミナルソフトウェアのパラメーターを、以下のように設定します。

パラメーター	設定値
データ転送速度	9600bit/s
キャラクタービット長	8
パリティチェック	なし
ストップビット数	1
フロー制御	Xon/Xoff

RJ-45 CONSOLEポートとmini-USB CONSOLEポートの両方をパソコンに接続している場合は、mini-USB CONSOLEポートを使用しているターミナルソフトウェアのみで設定が可能になります。なお、本製品からの出力メッセージは両方のCONSOLEポートへ出力されます。

5.1.4. CONSOLEポートに接続したパソコンからのログイン

1. 本製品とパソコンをコンソールケーブルで接続します。
パソコンと本製品のCONSOLEポートを、USBケーブルまたはRJ-45/DB-9コンソールケーブルで接続します。

注意



- LANポートとRJ-45 CONSOLEポートのコネクター形状は、同じ8ピンコネクターです。これらを間違えて接続すると、ハードウェアの破壊や故障につながります。十分に確認してから接続してください。
- mini-USB CONSOLEポートを使用する場合は、USBハブは使用しないでください。
複数のヤマハルーターやスイッチと1台のPCを接続すると、接続に割り当てられるCOMポート番号が意図せず入れ替わってしまう場合があります。誤って意図しない機器の設定を変更する可能性がありますのでご注意ください。

2. 本製品の電源を確認します。
本製品の電源が入っていないときは、「[電源コードを接続する](#)」を参照し電源を入れます。本製品の電源が入り、コマンドラインが使用できる状態になると起動メッセージがパソコンのコンソール画面に表示されます。
すでに電源が入っているときは、起動メッセージは表示されません。

SWX2310-18GTの場合

SWX2310-18GT Rev.2.04.11 (Fri Jul 15 09:38:27 2022)
Copyright (c) 2018-2022 Yamaha Corporation. All Rights Reserved.

3. [Enter]キーを押します。
ユーザー名入力待ち状態になります。
4. ユーザー名を入力して、[Enter]キーを押します。
工場出荷時の状態の場合は、初期管理ユーザーのユーザー名「admin」を入力します。

Username: admin

パスワード入力待ち状態になります。

5. 手順4で入力したユーザーのパスワードを入力して、[Enter]キーを押します。
工場出荷時の状態の場合は、初期管理ユーザーの初期パスワード「admin」を入力します。

Password:

メモ



- パスワードとして入力した文字列は、コンソール画面に表示されません。
(以降の手順でも同様です)
- パスワードを3回連続で間違えると、その後1分間、本製品にログインできなくなります。その場合は、1分以上時間を空けてから、手順4からやり直してください。

初期管理ユーザーの初期パスワード変更前：

パスワード認証が成功すると、新しいパスワードの入力待ち状態になります。
手順6に進み、パスワードを変更してください。

```
SWX2310-18GT Rev.2.04.11 (Fri Jul 15 09:38:27 2022)
Copyright (c) 2018-2022 Yamaha Corporation. All Rights Reserved.

Please change the default password for admin.
New Password:
```

初期管理ユーザーの初期パスワード変更後：

パスワード認証が成功するとコマンドプロンプトが表示され、コマンドを入力できるようになります。以上で、ログインの手順は完了です（以降の手順は不要です）。

```
SWX2310>
```

6. 新しいパスワードを入力して、[Enter]キーを押します。

```
New Password:
```

新しいパスワードの再入力待ち状態になります。

7. 手順6と同じパスワードをもう一度入力して、[Enter]キーを押します。

```
New Password(Confirm):
```

パスワード変更が成功するとコマンドプロンプトが表示され、コマンドを入力できるようになります。

```
Saving ...
Succeeded to write configuration

SWX2310>
```



メモ： コマンドに関する詳細についてはコマンドリファレンス（ヤマハWebサイト）をご覧ください。

5.2. Telnetを使用してコマンドラインで設定する

LAN上のホストから、Telnetクライアントを使用して本製品にログインするまでの手順を説明します。

5.2.1. Telnetクライアントを使用して本製品にログインする

パソコンなどのTelnetクライアントを使用して、本製品のTelnetサーバーに接続します。
例として、WindowsのTelnetクライアントを使用して本製品のTelnetサーバーに接続する手順を説明します。



メモ：Windowsの場合、初期設定ではTelnet機能は無効になっています。Telnet機能を使用するには、Telnetクライアントを有効にしてください。

1. 本製品とパソコンをLANケーブルで接続します。
2. 本製品の電源を確認します。
本製品の電源が入っていないときは、「[電源コードを接続する](#)」を参照して電源を入れます。電源が入っているときは、手順3に進みます。
3. Windowsのコマンドプロンプトを起動します。
4. **telnet**コマンドで本製品のIPアドレスを入力します。
本製品が工場出荷時の状態のときは、telnetコマンドの後に“192.168.100.240”を入力します。

```
telnet 192.168.100.240
```

ユーザー名入力待ち状態になります。

5. ユーザー名を入力して、[Enter]キーを押します。
工場出荷時の状態の場合は、初期管理ユーザーのユーザー名「admin」を入力します。

```
Username: admin
```

パスワード入力待ち状態になります。

6. 手順5で入力したユーザーのパスワードを入力して、[Enter]キーを押します。
工場出荷時の状態の場合は、初期管理ユーザーのパスワード「admin」を入力します。

```
Password:
```

メモ



- パスワードとして入力した文字列は、コンソール画面に表示されません。
(以降の手順でも同様です)
- パスワードを3回連続で間違えると、その後1分間、本製品にログインできなくなります。その場合は、1分以上時間を空けてから、手順5からやり直してください。

初期管理ユーザーの初期パスワード変更前：

パスワード認証が成功すると、新しいパスワードの入力待ち状態になります。
手順7に進み、パスワードを変更してください。

```
SWX2310-18GT Rev.2.04.11 (Fri Jul 15 09:38:27 2022)
Copyright (c) 2018-2022 Yamaha Corporation. All Rights Reserved.

Please change the default password for admin.
New Password:
```

初期管理ユーザーの初期パスワード変更後：

パスワード認証が成功するとコマンドプロンプトが表示され、コマンドを入力できるようになります。以上で、ログインの手順は完了です（以降の手順は不要です）。

```
SWX2310>
```

7. 新しいパスワードを入力して、[Enter]キーを押します。

```
New Password:
```

新しいパスワードの再入力待ち状態になります。

8. 手順7と同じパスワードをもう一度入力して、[Enter]キーを押します。

```
New Password(Confirm):
```

パスワード変更が成功するとコマンドプロンプトが表示され、コマンドを入力できるようになります。

```
Saving ...
Succeeded to write configuration

SWX2310>
```



メモ： コマンドに関する詳細についてはコマンドリファレンス（ヤマハWebサイト）をご覧ください。

5.3. SSHを使用してコマンドラインで設定する

LAN上のホストからSSHクライアントを使用して本製品にログインするための準備について説明します。ログイン方法については使用するSSHクライアントの取扱説明書をご覧ください。

注意：本製品のSSHサーバー機能では、以下の機能をサポートしていないのでご注意ください。



- SSHプロトコルバージョン1
- パスワード認証以外のユーザー認証
(ホストベース認証、公開鍵認証、チャレンジ・レスポンス認証、GSSAPI認証)
- ポートフォワーディング (X11/TCP転送)
- Gateway Ports (ポート中継)
- 空パスワードの許可

5.3.1. SSHサーバー機能を使用できるようにする設定

本製品のSSHサーバー機能は、工場出荷時の状態では使用しないように設定されています。SSHクライアントを利用して本製品にログインするには、あらかじめ他の方法で本製品にログインし、以下の設定を行います。

- 本製品のSSHサーバー機能を有効にする
- SSHサーバーにアクセスするためのユーザーを登録する



メモ：ここでは、「[CONSOLEポートを使用してコマンドラインで設定する](#)」でログインしたことを前提に説明します。

1. **enable**を入力し[Enter]キーを押します。
特権EXECモードに変更します。

```
SWX2310>enable
SWX2310#
```

2. **ssh-server host key generate**コマンドでSSHサーバーのホスト鍵を生成します。

```
SWX2310#ssh-server host key generate
SWX2310#
```



メモ： **ssh-server host key generate**コマンドでDSAまたはRSAの公開鍵、および秘密鍵のペアが生成されます。ただし機種によってはコマンドの処理に数十秒ほど時間がかかる場合があります。

3. **configure terminal**を入力し[Enter]キーを押します。
コマンド入力モードをグローバルコンフィグレーションモードに変更します。

```
SWX2310#configure terminal
Enter configuration commands, one per line.End with CNTL/Z.
SWX2310(config)#
```

4. **ssh-server enable**コマンドでSSHサーバー機能を有効にします。

```
SWX2310(config)#ssh-server enable
SWX2310(config)#
```

5. **username**コマンドでパスワード付きのユーザーを登録します。



重要：SSHではログイン時のユーザー名とパスワードが必要となるため、事前に必ずパスワード付きのユーザーを登録してください。

例) ユーザー名：yamaha、パスワード：1a2b3c4d

```
SWX2310(config)#username yamaha password 1a2b3c4d
SWX2310(config)#
```

6. **exit**を入力し[Enter]キーを押します。
特権EXECモードに戻ります。

```
SWX2310(config)#exit
SWX2310#
```

7. 必要に応じて設定を保存します。

```
SWX2310#write
Building configuration...

SWX2310#
```

メモ



- コマンドに関する詳細についてはコマンドリファレンス（ヤマハWebサイト）をご覧ください。
- SSHクライアントの設定および操作は各SSHクライアントの取扱説明書をご覧ください。

5.4. Web GUIを使用して設定する

Web GUIを使用して本製品にログインするまでの手順を説明します。

使用可能なWebブラウザについては、以下のWebサイトをご覧ください。

ヤマハネットワーク製品Web GUIのWebブラウザ対応状況：<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/FAQ/gui/browser.html>

5.4.1. Webブラウザを使用して本製品にログインする

1. 本製品とパソコンをLANケーブルで接続します。
2. 本製品の電源を確認します。
本製品の電源が入っていないときは、「[電源コードを接続する](#)」を参照して電源を入れます。電源が入っているときは、手順3に進みます。
3. パソコンでWebブラウザを起動し、「http:// (本製品のIPアドレス) /」にアクセスします。
アクセスに成功すると、ユーザー名とパスワードを入力するログイン画面が表示されます。

メモ



- 本製品のIPアドレスは、工場出荷時の状態では192.168.100.240/24が設定されています。
- 本製品をネットワークに接続していない場合は、設定に使用するパソコンのIPアドレスを、192.168.100.0/24のセグメントとなるように変更します。
パソコンのIPアドレスの変更方法は、パソコンのマニュアルをご覧ください。

4. ユーザー名とパスワードを入力して、「Login」ボタンをクリックします。
工場出荷時の状態の場合は、初期管理ユーザーのユーザー名「admin」とパスワード「admin」を入力します。
工場出荷時の状態でログインした場合は、パスワード変更画面が表示されます。



メモ：ユーザー名やパスワードを3回連続で間違えると、その後1分間、本製品にログインできなくなります。その場合は、1分以上時間を空けてから、手順4をやり直してください。

5. 新しいパスワードを2つの欄に入力して、「Save」ボタンをクリックします。
パスワード変更が成功すると、Web GUIのトップ画面が表示されます。

5.5. 本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す

本製品の設定を、工場出荷時の状態に戻すまでの手順を説明します。

- [cold start](#) コマンドで工場出荷時の状態に戻す
- 起動時に [I] (大文字のアイ) キーを入力し工場出荷時の状態に戻す
- [本製品のWeb GUIから工場出荷時の状態に戻す](#)

注意：工場出荷時の状態へ戻す場合は、以下の点にご注意ください。



- 実行した直後にすべての通信が切断されます。
- 本製品のIPアドレスが初期設定値 (192.168.100.240) に戻ります。
- 工場出荷時の状態に戻した後は設定内容を復元することはできません。必要に応じて、事前に外部メモリーなどに設定内容を退避してください。外部メモリーにエクスポートする方法については詳しくは、ヤマハWebサイトの「ヤマハネットワーク機器の技術資料」をご覧ください。



メモ：工場出荷時の状態に戻した後のログイン手順については、「[設定](#)」をご覧ください。

5.5.1. cold start コマンドで工場出荷時の状態に戻す

CONSOLEポートやTelnet、SSHクライアントを使用して、コマンドラインから設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。



注意：TelnetやSSHクライアントでログインしている場合は、その通信が切断されます。



重要：管理パスワードが初期設定の状態では、この手順は実行できません。事前に `enable password` コマンドで管理パスワードを変更してください。



メモ：ここでは、「[CONSOLEポートに接続したパソコンからのログイン](#)」または「[Telnetを使用してコマンドラインで設定する](#)」でログインしたことを前提に説明します。

1. `enable` を入力し、[Enter]キーを押します。
特権EXECモードに変更されます。

```
SWX2310>enable
SWX2310#
```

2. `cold start` コマンドを入力し、[Enter]キーを押します。
管理パスワードの入力が要求されます。

```
SWX2310#cold start
Password:
```

3. 管理パスワードを入力し、[Enter]キーを押します。
本製品に保存されている設定を工場出荷時の状態に戻し、SYSLOGを消去して本製品が再起動します。

5.5.2. 起動時に[I]（大文字のアイ）キーを入力し工場出荷時の状態に戻す

本製品の起動時に大文字の'I'を入力することで設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。ここでは、**reload**コマンドで本製品を再起動させる場合で説明します。電源コードの抜き差しによる本製品起動時と同じ手順です。



メモ：ここでは、「**CONSOLEポートに接続したパソコンからのログイン**」でログインしたことを前提に説明します。

1. **enable**を入力し、[Enter]キーを押します。
特権EXECモードに変更します。

```
SWX2310>enable
SWX2310#
```

2. **reload**コマンドを入力し、[y]キーを押します。
本製品が再起動します。

```
SWX2310#reload
reboot system? (y/n): y
```

3. 再起動後、コンソール画面にBootROM Ver（下記参照）が表示されてから1秒以内に大文字の'I'を入力します。

```
SWX2310 BootROM Ver.1.00
```



メモ：コンソール画面にBootROM Verが表示される前に、[Caps Lock]キーで入力文字を大文字にして待機するか、または[Shift]キーを押して待機しておく、すぐに大文字の[I]キーを入力することができます。

4. 初期化実行有無の画面が表示されたら[y]キーを押し、初期化を実行します。

```
Initialize or not?(y/n)
```

初期化が実行されます。

```
Ready to Initialize
.....
```

5.5.3. 本製品のWeb GUIから工場出荷時の状態に戻す

Web GUIから設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。



重要：管理パスワードが初期設定の状態では、この手順は実行できません。事前に管理パスワードを変更してください。



メモ：ここでは、「[Webブラウザを使用して本製品にログインする](#)」でログインしたことを前提に説明します。

1. 「管理」タブ→「保守」→「再起動と初期化」を順に選択します。
「再起動と初期化」画面が表示されます。
2. 「初期化」項目の「進む」ボタンをクリックします。
「初期化」画面が表示されます。
3. 管理パスワードを入力し、「確認」ボタンをクリックします。
「実行内容の確認」画面が表示されます。
4. 内容を確認し、「実行」ボタンをクリックします。
本製品が工場出荷時の状態へ戻されます。また、「初期化」ダイアログが表示され、本製品が再起動します。
5. 本製品の再起動が完了した後、Web GUIに再度アクセスします。

メモ



- 再起動中は、Web GUIを開いているパソコンが本製品と通信できない状態になります（パソコンのネットワークアダプターの状態表示で「ネットワークケーブルが接続されていない」と表示されます）。再起動が完了すると通信状態が復旧します。本製品のランプの点滅終了後に、パソコンの通信状態が復旧していることを確認してから「192.168.100.240/24」をクリックしてください。
- 本製品のIPアドレスが192.168.100.240に戻ります。Web GUIを再表示するときは、192.168.100.240にアクセスしてください。

© 2020 Yamaha Corporation
2022年8月 発行
YJ-B0